

小学校とは違う「運動会」

今日は雨降り、外での運動会練習は一休み。体育館で、開会式・閉会式の練習を行いました。副実行委員長の新山楓さんは、「今日は、忘れ物（名前の記入忘れも含む）が目立ちました。また、下を向いて話を聞いている人が多かったように思います。良かった所は、しっかりとお辞儀を返せるようになったところです。本番では、しっかりした服装、しっかりした話の聞き方で、緊張感のあるピリッとした運動会にしていきたいと思います。」と、話をしていました。今日は、各軍1年生の応援団に話を聞いてみました。

赤軍（吉田倭大）

声を出しているつもりだけど届いていなかったり、声を届けたり教えたりすることは難しいと思った。小学校と違って、全員で協力しないと勝てないことがわかった。本番では1年生らしく元気に、赤軍優勝に貢献したい。

青軍（小貫柑奈）

小学校よりも振り付けが難しく、教えるのが大変です。でも、楽しいです。時間、服装等が厳しく、一つ一つしっかりしていかなければならないと思いました。当日は自分から声を出して、完全優勝できるようにしたいです。

黒軍（高宮令奈）

3年生のために全力で声を出し、みんながしっかりと振り付けを覚えられるようにしたい。時間や服装が厳しいので、全員が合格できるようにしたい。本番では今まで以上に声を出して、優勝、応援賞、全ての賞を取りたい。

『山形新聞 少年少女の声』（8月22日）より

仕事 世のため人のため 2年 増川 瞬



僕は中学校の職業体験で、酒田市にある水産会社に行ってきました。早朝6時に前に到着したのですが、すでに仕事が始まっていました。始まっていた仕事は競りです。競り人が次々に言葉を発しているのですが、僕には何を言っているのかわかりませんでした。担当の方に、言葉の意味をわかりやすく教えていただき、ようやくわかった時は、あの短い言葉に様々な意味があることに驚きました。

次に体験した仕事は配達です。新庄のスーパーや鮮魚店に魚を届けに行きました。魚箱の中には魚だけでなく氷もしきつめられていたので、とても重かったです。酒田から新庄までは1時間もかかり大変でした。配達先で印象に残っているのは、スーパーの裏口から入り配達を行ったことです。普段見られない所を見ることができたことは、特別な感じがしました。配達する量も多く、荷下ろしなど大変な仕事だと思いました。スーパーに魚が並ぶまでに、いろいろな人が関わっているんだなと思いました。